

# 町政報告



## ( 主な内容 )

9月定例町議会が、9月10日から9月17日までの日程で開催されました。初日、町長が町の現状や課題などについて町政の概要を報告。13日には6人の議員が登壇し、一般質問を行いました。

今議会では25議案について審議され、平成15年度二ツ井町一般会計歳入歳出決算の認定など8議案が決算特別委員会に付託。二ツ井町基本構想の策定など13議案が原案可決、2議案が承認、2議案が同意されました。

### 市町村合併

第3回協議会においては合併の期日を来年10月11日とすることが了承され、また、第7回協議会では、新市の名称を「白神市」とすることが決定されました。

名称について、協議会事務局などへ多様なご意見が寄せられていると聞いておりますが、名称の決定にあたっては、新市にふさわしい新しい名称を公募によって決定することとし、選考の方法についても、その都度、協議会の場で検討、決定し、それぞれの議会で了承を得ながら進めて参りました。また、これらの経過はすべて、オープンな行政情報として公開されており、地域住民の意思が結集され、

絞り込まれて、決定に至ったと存じております。

### 稲作の航空防除

本年から大型ヘリによる空中散布を全面中止し、ラジコンヘリに切り替えることとしておりました。1回目を7月26日から28日まで、2回目は8月9日から11日まで、計2回、6日間にわたり、防除を実施致しました。町内の4機を含め、県内関係グループの協力を得て、延べ55機のラジコンヘリを使用し、計画通りに実行してまいります。

### おむすび権米衛

町との連携を拡大しながら首都圏で店舗展開を進めているおにぎり専門店「お

むすび権米衛」は、現在、20店舗に成長しておりますが、この9月17日、東京駅前のビジネス拠点・丸の内前ビルに新店を予定している店舗を含め、二ツ井産あきたこまちの専用店が7店舗を数えることとなりました。二ツ井の米を高く評価し、さらに店舗を増やしていく意向を示すとともに、町や生産者との交流を一層深めることとしており、社員一行が10月16日、17日に来町して、きみまち二ツ井マラソンに参加するほか、秋の収穫体験と生産者交流に臨む計画を立てております。また、社員の採用にあたっては、町との交流を深めたいとの考えから、二ツ井高校に呼びかけをしており、採用に意欲をみせております。

### ミニライスセンター

町内の若手農業者が法人を設立し、流通対策を視野に入れながら良食味米の計画的生産、出荷を進めようと、ミニライスセンターの建設に取り組んでおりますが、出来秋を前に、竣工



ミニライスセンター

### 総合発展計画

町の総合発展計画は16年度が最終年度にあたっており、17年度から10年間にわたる次期計画の策定を進めて参りました。昨年のまちづくり審議会において、策定の手法などについてご相談申し上げ、高校生以上の町民700人、商工業関係者、農業関係者を加えて1000人を対象とする意識調査を行ったほか、町内会長にも協力をお願いし、各小学校の5・6年生からは、

# 9月定例町議会

「こんな町・学校がいいな」をテーマに、10年後を展望する作文と図画を書いてもらいました。これらを基に素案を作成し、まちづくり審議会において8回に及ぶ審議をいただき、先には、議会のご意見もつかがって、成案としたところであります。平成7年度策定の現計画は「トライ21ビジョン」愛あふれる美しいふるさとづくり」のタイトルを掲げ、まちづくりを進めて参りました。12年度の後期計画においては、「環境立町」の考え方をさらに強め、「みどりのフロンティアをめざして」をタイトルとして、町の振興に努め、地域の未来を切り開いていくことと致しました。これまでを振り返り、21世紀社会を展望するとき、「みどりのフロンティア」を旗印とする環境立町のまちづくりは、引き続きその精神を堅持すべきものと考え、むしろ、より実践的に、行動することを主眼として、「ACT21ビジョン」みどりのフロンティアをめざして」とすることに致しました。

町はただいま、7市町村による合併協議に臨んでおりますが、合併後においても地域づくりのために最優先すべきものと位置づけ、実現をめざして参ります。

## 総合体育館

総合体育館の建設は、屋根の骨組みにあたる大断面構造用集成材の組み立てが終わり、引き続き、10月末を目標に屋根工事が行われております。外部工事は、サッシの取り付けを9月中旬に終了し、その後、塗装工事に着手して、年内には外



順調に建設が進む総合体育館

回りを終える予定となっております。進ちよく率は8月末で約43%となっております。工程通り進んでおります。

## 秋田ファッショング

カネボウの事業再生計画により、厳しい状況に立たされている秋田ファッショングの動向であります。会社側として、また、町としても、従業員の雇用維持、事業存続の観点から、それぞれ、努力を重ねて参りました。みなさまのご理解をいただいで、カネボウ本社にも出向き、最大限の努力をお願いして参りました。そのかいあつて、カネ

ボウ側には地元の熱意が高く評価され、その後、何度となく会社幹部が来町し、密接に連絡を取り合っております。また、今後の事態に備え、県の関係部課にも対応をお願いしております。産業再生機構が主体となつて、具体的には、秋田ファッショングの買い取りに乗り出す企業を探す作業が行われて参りましたが、幸いにして、国内的にも有数といわれる熟練度が見込まれ、県外の2社から意思表示がなされたとうかがっております。その後、再生機構に

## 旧伊徳跡地利用

旧伊徳衣料店の跡地利用について、同社側から、可能な限り協力したいと、きわめて好意的なお話をいただいでおります。解体工事が8月に完了し、いまは更地となつておりますが、町の中心部に位置する象徴的なスペースであり、地元商店会などよく話し合いながら、利用の方向性を固めることとしております。駅通り商店会では特別委員会を設置して検討を行つており、その考えもよく聞きながら、具体化を急いで参ります。

## きみまちの里フェスティバル

今年で10回目を迎えるきみまちの里フェスティバルは、10月16、17日の両日開

# 9月定例町議会

催に向け、ランナーやスタッフの募集を行って参りました。ランナーの応募は9日現在1117人、スタッフの応募は498人であり、ゲストランナーに本庄高校出身の資生堂所属・藤川亜希選手を迎え、10回記念大会にふさわしい内容にすべく、準備を進めて参ります。

## 小掛・鬼神地区水道整備

小掛・鬼神地区の水道整備につきましては、7月1日に水道事業変更認可申請書作成業務の契約を締結しております。現在、配水池の位置や水道本管ルートなどについて調査検討を行っておりますが、今後、仁鮎簡易水道組合や小掛簡易水道組合、鬼神集落と協議しながら、17年度着工、19年度完成をめざして参ります。

## 全町水道整備計画

全町水道整備計画につきましては、4月から6月にかけて、関係水道組合及び組合員に対するアンケート調査を行い、続く7月には、

水道組合に属さない、個人井戸などを利用している方々へのアンケート調査を実施しております。分析・検討を急ぎ、必要により補足調査なども行いながら、整備方針の取りまとめを進めて参ります。

## 保育園再編

仁鮎、切石、富根の各保育園を、今年度いっぱい閉園する方針について、各地区の保護者、区長、町内会長の方々に説明会を開催して参りましたが、ご理解を賜ったと認識しております。来年度からは、二ツ井、高丘、荷上場の3園体制で保育事業を実施して参ります。各保育園の運営形態は、二ツ井が町営、高丘及び荷上場が二ツ井保育会による法人営となっております。以前から運営主体の一元化が課題となっており、国、県の保育行政も変化しており、検討を急いで参ります。再編にあたっては、通園体制の整備が強く求められておりますが、バス路線の整備について、小学校

再編も視野に入れた総合的な対策が必要と存じ、バス購入の必要性も含めて、さらに検討を深めるよう指示しております。

## 小学校統合

17年4月から、天神小と種梅小は二ツ井小学校へ、田代小は仁鮎小学校へ統合することとし、諸準備を進めておりますが、今後、県教委との間で実務的な協議を進めるため、「町立学校条例の一部改正」を提出しております。なお、各学校では、地域の方々を中心に実行委員会が組織され、閉校式の準備を進めております。田代小学校は10月31日、種梅小学校は11月7日、天神小学校は17年3月13日に予定されております。小学校再編計画に関わる「基本構想委員会」は、現在まで9回開催され、間もなく、まとめの作業に入る状況であります。

## 二ツ井高校存続

県教委は6月、高校入学者の減少に対応するため、

第五次高校整備計画の後期計画案を示しました。県内各地で高校の再編整備が打ち出された中で、二ツ井高校は対象とならず、存続の方向となりました。後援会はじめ町民、関係各位の運動の成果であり、うれしい知らせでありました。



存続が決まった二ツ井高校

ただし、生徒の減少基調は変わらず、来年度からは現行3学級が2学級となるなど、厳しい事態は続いており、引き続き、議会や町民の理解と協力を得て、運動を展開して参ります。また、同校は創立40周年の記念すべき年を迎え、来月には記念行事が予定されております。